

東海第二 外部火災影響評価 ヒアリング (7/24) , (7/31) 及び  
審査会合 (8/3) における説明について

現在、東海第二の外部火災影響評価のうち、森林火災影響評価については、防潮堤ルート変更に伴う防火帯形状の変更を反映した再解析を実施しております。(別紙参照)

防火帯幅は解析結果を踏まえ決定することとなりますが、防火帯形状を変更した場合であっても、解析結果の抽出範囲となる防火帯周囲に存在する植生等はほぼ同じであるため、解析結果が大きく変わることはないと考えています。

つきましては、7,8月に予定しているヒアリング及び審査会合では、森林火災影響評価に係る説明を、現状の解析結果を基に行わせていただきたいと思いますと考えています。

## 1. 本日のヒアリング (7/24)

- ① 東海第二発電所の特徴 (20分)
- ② 森林火災影響評価の説明 (45分)
- ③ ヒアリング (4/5) の指摘事項に対する回答 (45分)

## 2. 次回のヒアリング (7/31)

- ① ヒアリング (7/24) の指摘事項に対する回答 (120分)

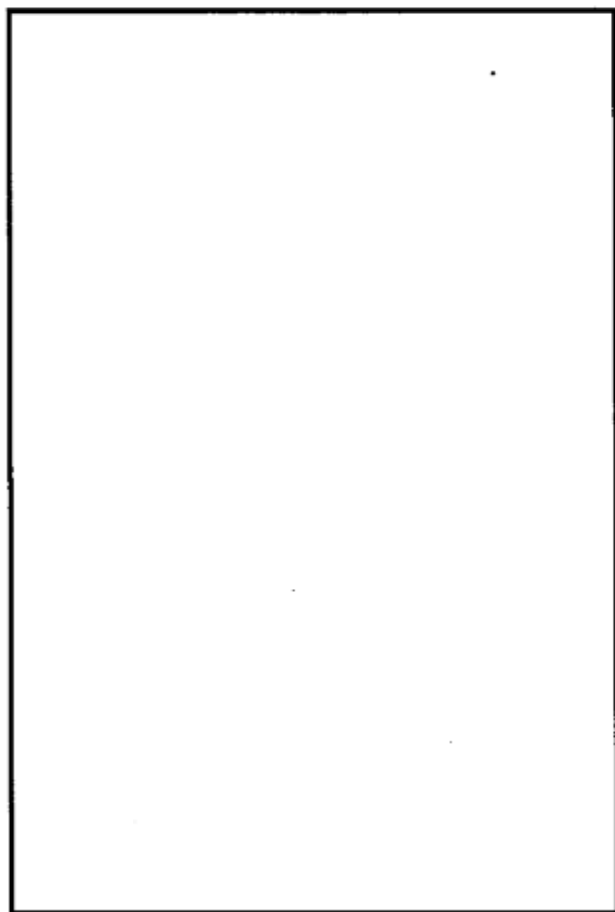
## 3. 次回審査会合 (8/3)

- ① 東海第二として特徴的なポイントを中心とした評価全体の説明
  - ・ 防火帯の設定 (防潮堤との兼用)
  - ・ 敷地外の危険物施設 (日立LNG基地) への評価
  - ・  $\chi^2$  乗分布を使用した航空機落下確率の算出
  - ・ 使用済燃料乾式貯蔵施設に対する評価
- ② 前回審査会合 (2014/12) 指摘事項に対する回答
  - ・ 指摘事項に対する回答一覧表に従い、審査資料の該当箇所を説明

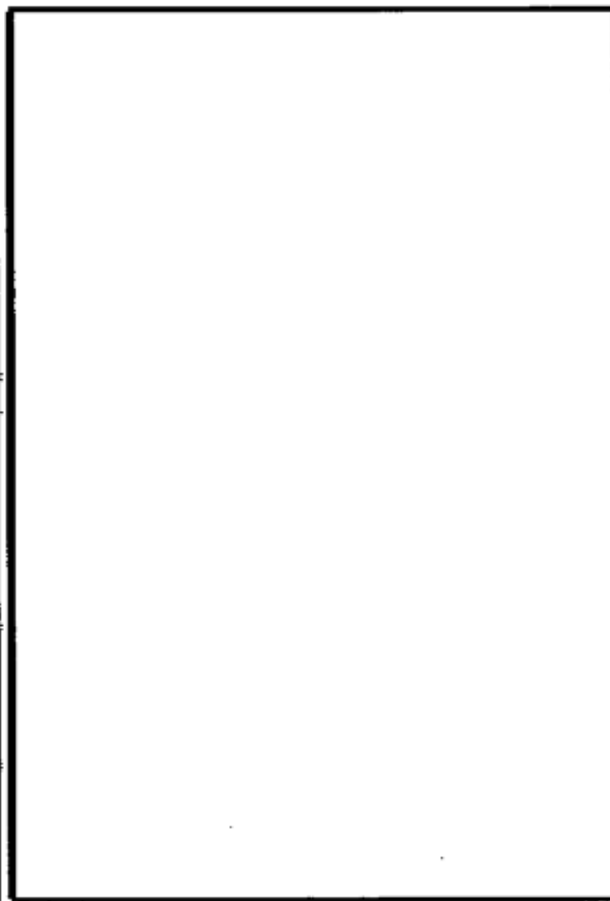
以 上

# 防潮堤構造見直しに伴う防火帯の変更

① セメント固化盛土構造



② 鋼管杭鉄筋コンクリート壁構造



③ 鋼管杭鉄筋コンクリート壁構造  
(ルート変更)

